

「剣山南側の地域活性化への取組と今後の課題」

南つるぎ地域活性化協議会
会 長 平井 滋
香川森林管理事務所
企画官 柏木 喜代幸

1 はじめに

南つるぎ地域活性化協議会は、剣山系の南側（写真1）の山岳部を対象に、地元団体等と行政が連携し、「南つるぎ」の環境保全と自然の魅力発信に取り組むことを目的として平成23年8月1日に設立しました。同協議会の主なメンバーは、県、那賀町、県内登山愛好家団体や徳島森林管理署などにより構成。観光資源としての潜在力が高い同地域の新たな魅力の創出、地域の活性化に取り組んできた成果について発表します。



（写真1）剣山系南側

2 取組内容

(1) 登山道の整備

剣山を登山する観光客の多くは、北面の見ノ越登山口を利用している。利用者が少なく整備が遅れている剣山南側地域について、登山道整備や案内板設置の取組を行いました。

平成26年度 1回、参加人員21名 次郎笈（じろうぎゅう）山頂に案内板設置。

平成23年度	4回、参加人員155名
平成24年度	4回、参加人員76名
平成25年度	4回、参加人員68名

(2) 南つるぎ環境活動の実施

登山道周辺の樹木をシカの食害から守る樹木ガードの設置（平成25年に3回）、シカ防護ネットの新設・補修（26年度新設2箇所・補修1箇所）及び、クリーン・アップ作戦（清掃活動は登山道整備と併用実行）の実施。

※樹木ガード（国有林内）の資材等は森林管理署が提供

(3) 南つるぎPR活動

- ・エコツアーの開催
- ・公式ホームページの開設
- ・南つるぎ登山マップ（登山者へ無料配布）の作成
3,000部作成（縮尺5万分の一）

(4) その他イベント

平成23年12月、「第1回きさわ鹿の森フェスタ：通称ジビエ祭り」及び「南つるぎ写真パネル展」を同時開催し、約2万人が集まる。平成24年開催の第2回は約2.7万人が集まり南つるぎ観光に明るい兆しが見えてきました。

3 活動を通して見えてきた課題等

- ① 剣山南面には6本の登頂ルートがあることから、新ルート作設と併せ、その魅力PRと活用
- ② 看板や路程表及び注意板がまだまだ不足しているため、自然環境に配慮した木製看板を設置（写真2）
- ③ 剣山系全体のニホンジカによる食害は深刻であり、樹木ガード等による食害対策を継続
- ④ 登山道周辺の樹木等の植生調査の実施
- ⑤ 手つかずの自然や開けた眺望など、変化に富んだ魅力のPRとマップ・パンフの作成



（写真2）木製看板設置

4 まとめ

協議会が中心となり、南つるぎの魅力を発信してきたことにより、年々、登山者やイベント参加者が増えてきており、この活動を継続するだけではなく、さらに効果が上がる取組を展開していくことが重要です。これまでの取組は地元団体と行政が一体となって進めてきたことにより予想以上の成果に繋がっています。

この活動が自然の魅力を生かした地域活性化に取り組んでいる皆様の参考になれば幸いです。

【今後の活動予定】

- ① 「登山道の整備」活動の名称を「おひさんプロジェクト」とするエコツアー活動を実施
- ② 地元住民及び地域外の住民の協力を求め、登山道の整備、クリーン・アップ作戦（清掃登山）を実施
- ③ 国、県、NPO、登山愛好家及び大勢のボランティアが協力・支援・連携し、看板等の設置や樹木ガード等設置を実施
- ④ ホームページの随時更新を行い最新の情報を発信
- ⑤ 登山マップ等を作成し登山者等に無料配布
- ⑥ 野生シカの食料転用の周知と促進を目的とする「きさわ鹿の森フェスタ：通称ジビエ祭り」を開催
- ⑦ 写真パネル展の開催（シカによる食害や対策の紹介など）